

# 第 29 回 定 時 総 会

開催日 令和元年6月11日（火）

場 所 ホテルメトロポリタン エドモント  
東京都千代田区飯田橋3-10-8

一般社団法人 日本鉄道電気技術協会

## 第 29 回 定 時 総 会 次 第

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

### 3 議 事

#### 1) 議長選出

#### 2) 総会成立報告

#### 3) 議事録署名人指名

#### 4) 議 題

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告に関する件（報告事項）

第 2 号議案 平成 30 年度決算に関する件（決議事項）

第 3 号議案 平成 30 年度公益目的支出計画実施報告に関する件（報告事項）

第 4 号議案 令和元年度事業計画並びに収支予算に関する件（報告事項）

第 5 号議案 任期満了に伴う役員選任に関する件（決議事項）

#### 5) 議長退任

### 4 閉 会

(第1号議案)

平成30年度事業報告に関する件（報告事項）

1. はじめに

平成30年度は、調査研究・技術委員会活動による各種技術課題検討、図書・教育・実力試験道場による人材育成、会誌・電子図書館による技術情報提供、テクニカルフォーラム・支部活動による技術交流等を通して、鉄道電気関係者の技術力向上等を支援する取組みを行った。特に、電子図書館等については、協会システムの更新に併せて、全文検索を可能とするなどの改良を行った。

協会収支については、教育事業、受託調査研究事業及び図書事業が予算よりも好調であったことから、全体としても予算以上となった。

2. 会議関係

1) 第28回定時総会 平成30年6月12日（ホテルメトロポリタン エドモント）

第1号議案 平成29年度事業報告に関する件

第2号議案 平成29年度決算に関する件

第3号議案 平成29年度公益目的支出計画実施報告に関する件

第4号議案 平成30年度事業計画並びに収支予算に関する件

第5号議案 役員の選任に関する件

2) 理事会

第77回理事会 平成30年5月11日（ホテルメトロポリタン エドモント）

第1号議案 平成28回定時総会開催に関する件

第2号議案 平成29年度事業報告に関する件

第3号議案 平成29年度決算に関する件

第4号議案 平成29年度公益目的支出計画実施報告に関する件

第5号議案 役員の選任に関する件

第6号議案 業務執行状況報告に関する件

第7号議案 参与の委嘱に関する件

第8号議案 協会貢献者賞受賞者の追加に関する件

第 78 回理事会 平成 30 年 6 月 12 日(ホテルメトロポリタン エドモント)  
第 1 号議案 役職理事の選定に関する件  
第 2 号議案 参与の補充委嘱に関する件  
第 3 号議案 常置委員会委員長の委嘱に関する件

第 79 回理事会 平成 30 年 11 月 8 日(弘済会館)  
第 1 号議案 平成 30 年度上半期事業及び業務執行状況報告について  
第 2 号議案 参与の交代及び支部長の退任等について  
第 3 号議案 平成 30 年 9 月末における債券の保有状況について  
第 4 号議案 連絡員及び補助者への謝礼について  
第 5 号議案 常置委員会委員長の委嘱に関する件

第 80 回理事会 平成 31 年 3 月 20 日(弘済会館)  
第 1 号議案 2019 年度事業計画及び収支予算について  
第 2 号議案 平成 30 年度各種表彰受賞者について  
第 3 号議案 参与の補充委嘱について  
第 4 号議案 2019 年 6 月総会における役員選任の進め方について  
第 5 号議案 平成 30 年度の会員状況について  
第 6 号議案 協会システムの更新について

3) 第 5 回顧問・参与会 平成 30 年 6 月 12 日(ホテルメトロポリタン エドモント)  
議題 1 協会の事業運営について  
議題 2 役員選任の考え方  
議題 3 その他

#### 4) 常置委員会等

委員会名	開催回数	開催日
経営企画委員会	1	3/7
電車線委員会	*46	本委員会 3/20
技術企画委員会	1	3/7
変電・受送電技術委員会	*35	
配電・電灯電力技術委員会	*25	
信号技術委員会	*52	
通信技術委員会	*12	
情報システム技術委員会	*11	
公民鉄技術委員会	*5	
工事施工委員会	*3	本委員会 3/20
会誌編集委員会	*14	本委員会 5/10、11/1
教育事業委員会	*4	本委員会 2/21
叙勲及び表彰推薦委員会	2	7/13、1/7
鉄道電気技術賞審査委員会	1	3/19
鉄道電気テクニカルフォーラム選考委員会	1	2/8

\*分科会等の回数を含む。

#### 5) 支部長会議

平成30年7月27日(弘済会館)

協会の事業展開と事業活動及び支部事業活動状況についてほか

### 3. 会員関係

#### 1) 会員の状況

(1) 個人正会員は、長期的に減少傾向が続いていたが、関係者の積極的な会員勧誘活動や入会キャンペーンの実施、eラーニング「実力試験道場」の開設などにより平成20年度から増加に転じ、平成30年度末の会員数は前年度末に比べ63名増加し、18,138名となった。

支部別に見ると、東北支部26名、新潟支部11名、関東支部119名、中部支部3名、九州支部28名のそれぞれ増となった。

(2) 団体正会員は、口数は増減なく4,581口で、会員数は1社増の454社となった。

# 会員の状況表

平成 31 年 3 月末現在

種 別		支部別		北海道	東北	新潟	関東	中部	関西	中国	四国	九州	合計	対前年 同期
		北海道	東北	新潟	関東	中部	関西	中国	四国	九州	合計	対前年 同期		
個人正会員	鉄道事業者	J R	302	753	246	2,962	1,716	845	411	174	392	7,801	-48	
		公民鉄	10	3	0	1,601	434	1,194	1	1	104	3,348	+8	
	一般企業		312	583	187	2,731	649	1,093	454	15	525	6,549	+82	
	個人		3	5	5	235	28	43	6	0	8	333	+13	
	その他		2	1	1	94	1	1	0	0	7	107	+8	
	合計		629	1,345	439	7,623	2,828	3,176	872	190	1,036	18,138	+63	
	対前年同期		-13	+26	+11	+119	+3	-73	-38	0	+28	+63		
団体正会員	鉄道事業者等	J R 社数	1			5	1	1		1	1	10	0	
		口数	5			81	31	30		3	15	165	0	
	公民鉄	社数	2	11	1	36	16	23	6	5	6	106	+1	
		口数	11	15	1	293	42	199	16	8	34	619	+25	
	一般企業		社数	21	9	4	180	20	63	8	6	21	332	0
			口数	112	50	13	2,638	58	283	13	23	89	3,279	-25
	電車線委員会		口数	5			372	3	98		5	20	503	0
	その他		社数				6						6	0
		口数				15						15	0	
合計	社数	24	20	5	227	37	87	14	12	28	454	+1		
	口数	133	65	14	3,399	134	610	29	39	158	4,581	0		

## 2) 個人会員向け事業の強化及び入会の勧誘

- (1) 電子図書館及び実力試験道場により、会員に対しインターネットで技術情報提供と技術力向上支援に努めた。電子図書館については、全文検索を可能とするなど改良した。
- (2) 当協会の活動状況等を紹介するホームページを活用し、入会の勧誘に努めた。
- (3) 新会員に「わかりやすい鉄道技術(電気編)」を贈呈するなど、入会の勧誘に努めた。
- (4) 各職場で入会勧誘活動の中心となっている連絡員及び補助者に、謝礼を行った。
- (5) 入会の勧誘に活用できる協会リーフレットを作成した。
- (6) 団体正会員企業の新入社員に対し、4月号の会誌を配布してPRと入会の勧誘を行った。

## 3) 叙勲等

- (1) 当協会が推薦して受章等した方は、次のとおりである。

### ○叙勲（敬称略）

平成30年秋

沖野 公夫（元 日本電設工業㈱） 瑞宝単光章

新谷 勇次（元 新生テクノス㈱） 瑞宝単光章

令和元年春

浅賀 英雄（元 日本国有鉄道） 瑞宝双光章

高橋 伊奈二（元 日本リーテック㈱） 瑞宝単光章

牛島 繁（元 日本電設工業㈱） 瑞宝単光章

### ○澁澤賞（(一社)日本電気協会、平成30年11月20日）（敬称略）

平山 弘幸（西日本電気システム㈱）

森 清（東日本電気エンジニアリング㈱）

- (2) 電気関係受章者祝賀会を次のとおり開催した。

（(一社)鉄道電業安全協会、(一社)信号工業協会と共催）

日 時 平成30年12月7日

場 所 東京ステーションコンファレンス

受章者等 叙勲 8名 国土交通大臣表彰 3名

祝賀会出席者 145名

## 4. 自主調査研究事業

国土交通省及び総務省の要請を受け、平成28年4月に「鉄道無線国際標準化検討会」を設置して列車と沿線との間の無線通信システム（RSTT）の周波数について検討した後、平成29年度からは自主調査研究「鉄道無線国際標準化に関する調査研究」として取り組んでいる。平成30年度は、令和元年10・11月開催予定の世界無線通信会議（WRC-19）に向

け、我が国鉄道業界の現状が反映されるよう会議への対処方針を議論するなどした。

また、我が国鉄道技術の海外展開推進のため平成30年4月に「規格検討会」を設置し、当協会の規格関係業務の方向付けなどを行っている。平成30年度は、日本鉄道電気技術協会規格（JERS）の創設を提言するなどした。

## 5. 技術振興事業

### 1) 第32回鉄道電気テクニカルフォーラム

第32回鉄道電気テクニカルフォーラムの発表会は、平成31年2月8日東京ステーションコンファレンスにおいて約670名の参加を得て開催した。「発表の部」は、電力部門23件、信号通信部門34件、計57件の応募があり、選考委員会(委員長：安田一成 東日本旅客鉄道㈱執行役員電気ネットワーク部長)による選考を経て、電力部門、信号通信部門それぞれ14件の発表が行われた。

「考案の部」では、協会各支部長から35件の推薦があった。

各賞の受賞論文数は次のとおりである。

#### ・「発表の部」

最優秀賞 2件

優 秀 賞 4件

優 良 賞 10件

入 賞 12件

#### ・「考案の部」

鉄道電気技術奨励賞 35件

### 2) 講演会（鉄道電気テクニカルフォーラム）

平成31年2月8日（東京ステーションコンファレンス）

#### ・「インド高速鉄道の取組み」

東日本旅客鉄道㈱ 国際事業部 インド高速鉄道部門

担当部長 佐藤利之 氏

### 3) 技術情報提供

(1) 電子図書館において、インターネットにより会誌・技術調査報告書・発表会論文集など各種技術情報の提供を行っている。平成30年度には、「鉄道と電気技術」（平成28年分）、第31回鉄道電気テクニカルフォーラム論文集等を掲載した。

(2) 実力試験道場において、インターネットを活用した人材育成支援を行っている。平成30年度の新規ユーザー登録者数は1,105名となっている。段位取得者（複数種別取得者を重複計上）は、同年度が1,422名で、累計では6,277名となっている。年齢別では10



～20 歳代が累計の 68.4%を占めており、実力試験道場が若手社員の育成に一定の役割を果たしていると考えられる。また、10 段取得者（複数種別取得者を重複計上）は、同年度が 275 名、累計で 1,041 名となっている。

#### 4) 表彰

##### (1) 鉄道電気顕功賞

受賞者 宮崎 俊宣 元 東海旅客鉄道(株)建設工事部電気工事課 担当課長  
 (敬称略) 元 当協会電車線技術委員会 幹事長  
 長谷川 豊 元 (公財)鉄道総合技術研究所 技術支援部長  
 元 当協会 技術顧問

##### (2) 鉄道電気技術賞

平成 30 年度は 17 件の応募があり、鉄道電気技術賞審査委員会（委員長：大崎博之 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）において審査した結果、鉄道電気技術賞最優秀賞等は次表のとおりとなった。

賞	件名	所属	氏名(敬称略)
鉄道電気 技術賞 最優秀賞	無線式列車制御システムの 埼京線への導入	東日本旅客鉄道(株) ・電気ネットワーク部 ATACS プロジェクト ・東京電気システム開発工事事務所 ATACS 埼京 (株)日立製作所 鉄道ビジネスユニット 信号システム設計本部信号保安システム設計部 三菱電機(株)コミュニケーション・ネットワーク製作所 無線通信システム部 技術第一課	八木 圭介 小澤 康則、保坂 裕之 山本 修 永田 貴司
鉄道電気 技術賞	MT 障害物検知装置の低掃引面運用による踏切人身事故防止	西武鉄道(株) 信号通信課 大同信号(株)	犬塚 隆晴、植木 敏広、 木村 厚亮 前 友章、桐野江 由輔
鉄道電気 技術賞	QR コードを用いたホームドア開閉制御技術の考案	東京都交通局	岡本 誠司、久保 実、 小杉 雄一郎、藤曲 雅則

賞	件名	所属	氏名(敬称略)
鉄道電気 技術賞	新型接地抵抗 測定器の開発	東日本旅客鉄道(株) ・大宮新幹線電力技術センター ・秋田支社 設備部電力課 ・東京電気システム開発工事事務所総務課(出向) 日本地工(株) ・開発推進本部 接地技術部 ・関西支社 施設営業部	熊谷 芳浩 加藤 啓介 後藤 徹  荘田 崇人 佐藤 淳
鉄道電気 技術賞	フレキシブル トラフの開発	東日本旅客鉄道(株) 東京電気システム開発工事事務所 ・新宿電気システム工事区 ・送電ネットワーク 古河電気工業(株) AT 機能樹脂事業部門 古河樹脂加工(株)	唐澤 翼、江頭 裕樹 金澤 浩之 小澤 聡 木村 泰樹
特別賞 独創性	<該当なし>		
特別賞 実用性	512色LED発 車標	(株)新陽社	佐々木 忠久、 高橋 浩一郎
特別賞 効果	<該当なし>		

(3) 鉄道電気技能功労賞

事業報告附属明細書の資料 1

(4) 協会貢献者賞

事業報告附属明細書の資料 2

(5) 協会誌優秀作品賞及び講座終了感謝状

事業報告附属明細書の資料 3

5) 技術分野別常置委員会

平成 18 年 7 月に技術分野別の常置委員会、平成 21 年 7 月には公民鉄技術委員会を設置し、各技術分野の技術課題に専門的に取り組んでいる。

平成 30 年度は、電車線技術委員会において、日本鉄道電気技術協会規格 (JERS) の嚆矢として、平成 30 年 11 月にスマート電車線関係の 5 件を制定した。

常置委員会	委員長（敬称略）	幹事長（敬称略）
電車線技術委員会	大浦 泰	藤田 文雄
変電・受送電技術委員会	関 秋生	き電変電分科会 稲村 正博 受送電分科会 川島 正二
配電・電灯電力技術委員会	宗宮 博行	増田 文彦
信号技術委員会	松本 雅行	青木 優明
通信技術委員会	川村 武彦	山下 徹
情報システム技術委員会	菱沼 好章	林 節
公民鉄技術委員会	村田 和夫	松田 明行

## 6. 会誌事業

会誌「鉄道と電気技術」

1) 平成 30 年 1 月号から平成 30 年 12 月号までの講座は次のとおりである。

(1) 終了した講座

- ・ 直流き電用変電所の保護システム（平成 29 年 7 月号～平成 30 年 5 月号）
- ・ ミリ波無線技術とその応用（平成 29 年 7 月号～平成 30 年 6 月号）

(2) 継続している講座

- ・ 転てつ装置（平成 28 年 9 月号～）
- ・ 鉄道電化の物語（平成 28 年 10 月号～）
- ・ イーサネットと関連技術（平成 30 年 7 月～）
- ・ 都市間路線の電車線路設備のあり方について（平成 30 年 8 月～）

2) 各号の技術メインテーマは以下のとおりとした。

（平成 30 年）

1 月号 環境・省エネルギー	7 月号 安全・安定輸送を支える
2 月号 設備管理・保全	8 月号 工事と施工技術
3 月号 技術開発・改善	9 月号 防災・災害復旧
4 月号 輸送・旅客サービス	10 月号 情報・ネットワーク
5 月号 設備更新とプロジェクト	11 月号 人材育成・技術力向上
6 月号 テクニカルフォーラム	12 月号 事故防止

3) 平成 30 年度の会誌広告収入は、会員企業の御協力をいただいたが若干の減となった。

## 7. 教育事業

### 1) 技術講習会・鉄道電気セミナー・鉄道設計技士受験講座

平成30年度の受講者数は合計2,651名で、対前年度1.0%増であった。

講習会等		会場	平成30年度		平成29年度	
			回数	受講者数	回数	受講者数
電力	講習会	東京	15	726	15	682
		大阪	10	112	10	129
	鉄道電気 セミナー	東京	2	71	2	87
		大阪	1	39	1	32
信号	講習会	東京	14	577	14	558
		大阪	10	190	9	191
	鉄道電気 セミナー	東京	2	95	2	94
		大阪	1	29	1	30
通信	講習会	東京	11	456	11	465
		大阪	7	101	7	108
	鉄道電気 セミナー	東京	1	48	1	44
		大阪	1	26	1	27
鉄道設計技士受験講座				181		177
計	講習会		67	2,162	66	2,133
	鉄道電気セミナー		8	308	8	314
	鉄道設計技士受験講座			181		177
合計			75	2,651	74	2,624

### 2) 技術認定講習会

平成30年度の受講者数は合計4,397名で、対前年度5.0%減であった。

講習会		平成30年度	平成29年度
信号ケーブル接続工法	新規	675	596
同	更新	1,288	1,361
レールボンド溶接工法(電気)	新規	335	335
同	更新	649	748
レールボンド溶接工法(施設)	新規	133	181
同	更新	305	276
通信ケーブル接続工法	新規	409	474
同	更新	603	656
合計		4,397	4,627

### 3) サテライト式講習会

テレビ会議システム等を活用して、東京で開催している講習会を大阪会場でも同時に受講できるサテライト式講習会を平成23年度から開催しており、平成30年度は11科目で実施した。

## 8. 受託調査研究事業

平成30年度は、次の6件を受託した。

委託者	件名	委員長等 (敬称略)	備考
西日本旅客鉄道(株)	無線式 ATC システム活用委員会の運営委託	中村 英夫	継続
西日本旅客鉄道(株)	無線式 ATC システム評価委員会の運営	中村 英夫	継続
東海旅客鉄道(株)	新幹線次期変電技術調査	正田 英介	継続
東日本旅客鉄道(株)	電気鉄道におけるエネルギー使用量・CO <sub>2</sub> 排出量削減に関する調査研究	横山 明彦	継続
東日本旅客鉄道(株) 西日本旅客鉄道(株)	5G の鉄道活用に向けた検討	三瓶 政一	新規
(独)鉄道建設・運輸 施設整備支援機構	電気関係工事実態調査	—	新規

## 9. 図書事業

1) 技術分野別常置委員会関係者の協力を得て、次の図書を新規発行又は改訂した。総販売数は10,999冊、対前年度9.5%増であった。

(1) 鉄道電気概論の改訂

- ・踏切保安装置 [改訂] (信号シリーズ)

(2) 一般技術図書の新規発行・改訂

- ・電車線路の電流容量計算方法 [発行]
- ・電車線路技術Q&Aシリーズ (支持物編) [発行]
- ・電車線路技術Q&Aシリーズ (き電線・帰線編) [発行]
- ・電車線路技術Q&Aシリーズ (電車線編1・2) [発行]
- ・電車線路技術Q&Aシリーズ (その他編1・2) [発行]
- ・用語解説 [改訂]
- ・解説 鉄道に関する技術基準 (電気編) [改訂]

2) 主な図書の販売数は、次のとおりである。

- ・鉄道電気概論 6,581冊
- ・解説 鉄道に関する技術基準 (電気編) 1,023冊
- ・電車線屋の現場必携 277冊
- ・電車線路支持物強度計算の手引 253冊
- ・信号工事の現場必携 (共通編) 222冊
- ・信号工事の現場必携 (設備編) 183冊
- ・信号入門 (改訂版) 169冊

・電車線路技術 Q&A シリーズ（支持物編）	168 冊
・配電・電灯電力屋の現場必携	164 冊
・電車線路技術 Q&A シリーズ（電車線編）	163 冊
・電車線路技術 Q&A シリーズ（き電線・帰線編）	161 冊
・その他一般技術図書	1,635 冊
合 計	10,999 冊

## 10. 技術協力事業

1) 次の受託調査検討を行った。

委 託 者	件 名	委員長等（敬称略）
国土交通省	鉄道に関する技術上の基準を定める省令第 54 条等に関する調査検討	電気設備部門 池田 充 運転保安設備部門 寺田 夏樹 離隔距離等 WG 根津 一嘉

2) JIS 原案の作成等

当協会は、鉄道電気関係の JIS 原案作成団体となっていて、平成 30 年度末現在、電車線関係 5 件、変電関係 2 件、信号関係 25 件の JIS を担当している。

平成 30 年度は、電気転てつ機について、方法規格「JIS E 3001 電気転てつ機の性能試験方法」が既にあるところ、製品規格「JIS E 3010 電気転てつ機」制定原案作成を進めた。

なお、平成 29 年度に当協会が原案作成した「JIS E 3004 連動装置一試験及び検査方法」（「JIS E 3004 継電連動機検査方法」を規格名称も含め改めたもの）は、平成 31 年 3 月 15 日官報公示された。

3) サイバーセキュリティ関係業務

平成 28 年 7 月より国土交通省鉄道局から引き継いだ鉄道セプターの事務局として、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）等からの情報の鉄道セプター構成員への展開し、NISC 主催の分野横断的演習への参加等を行った。

また、「交通 ISAC 創設に向けた検討会」に出席し、同 ISAC の令和元年度末創設に向けた議論に参画した。

さらに、サイバーセキュリティ基本法改正により、平成 31 年 4 月に創設されたサイバーセキュリティ協議会に、鉄道セプター事務局として加入することとして関係者と調整した（令和元年 5 月に加入した。）。

## 11. 支部活動

平成 30 年度の支部活動は、次のとおりである。

### 1) 北海道支部

- |             |           |  |          |
|-------------|-----------|--|----------|
| (1) 支部幹事会   | (30.6.14) | 平成 30 年度支部総会付議事項検討   | 参加 10 名  |
| (2) 支部運営委員会 | (30.7.5)  | 平成 29 年度事業及び会計報告<br>平成 30 年度事業計画及び収支計画等<br>役員の改選等  | 参加 19 名  |
| (3) 支部定時総会  | (30.7.5)  | 平成 29 年度事業及び会計報告<br>平成 30 年度事業計画及び収支計画等<br>役員の改選及び協会賞表彰式等  | 参加 133 名 |
| (4) 講演会     | (30.7.5)  | 「インド高速鉄道について」<br>講師 東日本旅客鉄道(株) 国際事業本部<br>インド高速鉄道部門 担当部長 佐藤 利之 氏  | 参加 188 名 |
|             | (31.1.9)  | 「北海道の天然資源で認知症を予防するーアミロイド凝集阻<br>害物質の微量探索システムの開発と北海道天然資源からの有<br>用物質の探索ー」<br>講師 国立大学法人室蘭工業大学 准教授<br>北海道マテリオームラボ ラボ長 徳樂 清孝 氏 | 参加 206 名 |

### 2) 東北支部

- |                     |           |   |          |
|---------------------|-----------|---|----------|
| (1) 支部定時総会          | (30.7.10) | 平成 29 年度事業報告及び会計報告<br>平成 30 年度事業報告及び収支計画等<br>支部運営委員及び、支部監事の選任                                 | 参加 129 名 |
| (2) 支部運営委員会         | (30.7.10) | 平成 30 年度定時総会付議事項決議  | 参加 52 名  |
| (3) 支部拡大幹事会         | (30.5.23) | 平成 30 年度定時総会付議事項検討  | 参加 129 名 |
| (4) 記念講演会           | (30.7.10) | 『最新の地熱関連研究開発の動向』<br>講師 国立研究開発法人産業研究所 福島再生可能エネルギー<br>研究所 再生可能エネルギー研究センター地熱チーム<br>研究チーム長 浅沼 弘 氏 | 参加 129 名 |
| (5) 鉄道の日<br>記念行事の開催 | (30.11.2) | 東北電力 女川原子力発電所   | 参加 33 名  |
| (6) 支部<br>臨時常任幹事会   | (31.2.6)  | 協会賞受賞候補者について  | 参加 23 名  |

### 3) 新潟支部

- |             |            |  |         |
|-------------|------------|--|---------|
| (1) 支部幹事会   | (30.9.21)  | 平成 29 年度事業及び会計報告<br>平成 30 年度事業計画及び収支計画等<br>役員の改選等及び協会賞表彰       | 参加 8 名  |
| (2) 支部運営委員会 | (30.10.5)  | 平成 29 年度事業及び会計報告<br>平成 30 年度事業計画及び収支計画等<br>役員の改選等及び協会賞表彰       | 参加 11 名 |
| (3) 支部総会    | (30.10.11) | 平成 29 年度事業報告及び会計報告・監査報告<br>平成 30 年度事業計画及び収支計画<br>役員の改選等及び協会賞表彰 | 参加 59 名 |

(4) 講演会	(30.10.11)	「雷害対策の最前線」 講師 音羽電機工業(株) 北陸支店 支店長 吉井 源治 氏	参加 59名
(5) 施設見学	(30.12.3)	国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター	参加 20名
4) 関東支部			
(1) 支部総会	(30.7.11)	平成 29 年度事業報告及び会計報告・監査報告 平成 30 年度事業計画及び収支計画 運営委員等の改選について 協会賞、鉄道電気技術奨励賞及び実力試験道場 10 段表彰	参加 288名
(2) 運営委員会	(30.7.11)	平成 30 年度定時総会付議事項の審議と決議 平成 30 年度事業計画及び収支計画 運営委員等の改選について	参加 52名
(3) 常任幹事会			
第 1 回	(30.6.15)	平成 30 年度定時総会付議事項の検討等	参加 18名
第 2 回	(30.8.3)	鉄道電気技術奨励賞委員の選出、見学会検討等	参加 16名
第 3 回	(31.1.11)	平成 30 年度協会賞の候補選出、連絡員会議の開催	参加 19名
(4) 講演会	(30.7.11)	「将来の航空交通システムの構築を目指して ～航空管制に関する研究開発～」 講師 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 航法システム領域長 研究監 福田 豊 氏	参加 288名
(5) 見学会	(30.9.28)	第 1 回 鉄道博物館（東日本鉄道文化財団）	参加 37名
	(30.12.12)	第 2 回 川崎火力発電所（J R 東日本）	参加 48名
(6) 連絡員会議	(31.3.1)	弘済会館	参加 78名
5) 中部支部			
(1) 支部総会	(30.6.25)	平成 29 年度事業報告 平成 29 年度決算報告及び会計監査報告 平成 30 年度活動計画及び活動方針 平成 30 年度予算計画 役員の選任及び協会賞表彰	参加 212名
(2) 運営委員会			
第 1 回	(30.6.25)	平成 30 年度定時総会付議事項決議	参加 21名
第 2 回	(30.12.21)	平成 30 年度活動報告、次年度活動計画検討	参加 19名
(3) 連絡員会議			
第 1 回	(30.4.16)	平成 29 年度活動報告及び平成 30 年度活動方針検討	参加 9名
第 2 回	(30.6.11)	中部支部総会準備及び今後の活動計画検討	参加 11名
第 3 回	(30.9.6)	支部長会議報告及び技術交流活動決議	参加 14名
第 4 回	(30.11.5)	各社活動に関する情報交換及び協会賞検討	参加 13名
第 5 回	(31.2.18)	次年度活動計画及び各種会議予定検討	参加 12名
(4) 講演会	(30.6.25)	「5G の標準化へ向けた取り組みと最新動向」 講師 (株)NTT ドコモ 5G イノベーション推進室 奥村幸彦 氏	参加 212名
(5) 技術交流活動	(30.8.10)	第 1 回 三菱重工業(株)様 MR J ミュージアム	参加 27名
	(31.2.1)	第 2 回 日本車輛製造(株)様 豊川製作所	参加 33名



6) 関西支部			
(1) 関西支部総会	(30.7.5)	平成 29 年度事業報告 平成 29 年度会計報告、監査報告 平成 30 年度事業計画、収支予算 支部運営委員選任等の報告	参加 194 名
(2) 支部運営委員会	(30.7.5)	支部運営委員紹介 平成 30 年支部事業の役割分担 平成 30 年度支部事業の年間スケジュール	参加 194 名
	(30.7.5)	支部運営委員紹介 平成 30 年支部事業の役割分担 平成 30 年度支部事業の年間スケジュール	参加 194 名
	(30.10.18)	役員選任等の報告について ～19) 平成 30 年度事業経過報告及び事業計画について	参加 32 名
(3) 幹事会	(30.6.15)	第 28 回関西支部通常総会について 拡大) 第 1 回支部運営委員会について	参加 14 名
	(30.8.29)	第 2 回支部運営委員会について 関西テクニカルフォーラムの開催について	参加 6 名
	(30.8.29)	各専門委員会、各運営幹事年間活動計画報告 拡大) 第 2 回支部運営委員会について 関西支部「実力試験道場優良者」の表彰基準について	参加 13 名
	(30.11.15)	関西鉄道電気テクニカルフォーラムの開催について 協会賞の推薦について	参加 6 名
	(31.1.10)	関西鉄道電気テクニカルフォーラムの開催について 連絡員会について 現場長座談会について 平成 30 年度事業経過報告及び平成 31 年度事業年間計画について	参加 6 名
(4) 監事会議	(30.4.12)	平成 29 年度事業報告、監査 平成 29 年度会計報告、監査	参加 6 名
(5) 講演会	(30.7.5)	『みんなで創る「安全」と「おもてなし」』 講師 合同会社おもてなし創造カンパニー代表 矢部輝夫様	参加 194 名
(6) 研修会(見学会)	(30.5.24)	近畿日本鉄道(株)大阪総合指令所	参加 36 名
	(30.9.26)	新日鐵住金製鋼所 鉄道用車輪等の製造ライン見学	参加 25 名
	(30.11.12)	TOA(株) 鉄道向け次世代放送システム見学	参加 42 名
	(31.2.21)	(株)電業 架線金物の製造ライン見学	参加 21 名
(7) 講習会	(30.6.7)	第三種電気主任技術者資格受験講習	参加 38 名
	(30.7.6)	雷害対策 (弱電編)	参加 28 名
	(30.9.5)	連動図表の読み方 (初級編)	参加 35 名
	(30.11.28)	最新直流高速度気中遮断機の技術について	参加 53 名
	(30.12.12)	連動図表の読み方 (中級編)	参加 33 名
	(31.2.13)	Osaka Metro の津浪浸水対策について	参加 45 名

(8) 広報誌	(30.5.)	活動報告および各社の工事紹介等 講習会・研修会・設備調査専門委員会の活動報告 関西鉄道電気テクニカルフォーラムの実施報告 各社局の話題、工事紹介 枚方市駅連動装置の更新（京阪） 2D型踏切障害物検知装置の導入（京阪） 西宮変電所使用開始（JR西日本） 防災情報監視システムの改良（神戸電鉄） 会員のコーナー（阪和電設）	郵送
	(30.10.)	活動報告および今後の活動予定等 講習会・研修会・設備調査専門委員会の活動報告および予定 関西鉄道電気テクニカルフォーラム開催案内 各社局の話題、工事紹介 新型ATSの供用開始（京阪） 鈴蘭台駅橋上駅舎化工事竣工（神戸電鉄） 職場紹介（山陽電鉄）	電子メール
	(31.1.)	活動報告および今後の活動予定等 支部長年頭挨拶 支部運営委員会報告 講習会・研修会・設備調査専門委員会の活動報告および予定 各社局の話題、工事紹介 十三駅ホームドア設置工事（阪急） 東淀川駅橋上化完成（JR西日本） 職場紹介（大阪メトロ）	電子メール
(9) 関西鉄道電気 テクニカルフォーラム	(31.1.30)	本部主催「鉄道電気テクニカルフォーラム」で当支部所属事業者が授賞（内定）した「発表の部」「考案の部」の発表と展示	参加 252名
(10) 連絡員会	(31.1.30)	平成30年度事業活動経過報告 本部主催「鉄道電気テクニカルフォーラム（考案の部）」表彰式	参加 252名

## 7) 中国支部

### (1) 中国支部総会

支部総会は、次のとおり予定していたが、平成30年7月西日本豪雨災害により中止し、持ち回りとした。

- (30.7.6) 平成29年度事業及び会計報告  
平成30年度事業計画及び収支計画等  
協会賞表彰  
役員を選任

### (2) 運営委員会

運営委員会は、次のとおり予定していたが、支部総会と同様に持ち回りとした。

- (30.7.6) 平成30年度支部総会付議事項決議

(3) 幹事会	(31.2.14)	平成30年度鉄道技能功労賞・協会貢献者賞の選定	参加 5名
(4) 監事会	(30.4.12)	平成29年度事業報告及び会計監査	参加 3名
(5) 見学会	(30.11.15)	西日本旅客鉄道(株)島田変電所（西日本豪雨災害復旧工事）見学	参加 18名
	(30.11.16)	西日本旅客鉄道(株)坂変電所（平成28年度新設工事）見学	参加 20名
	(31.2.8)	西日本旅客鉄道(株)本郷変電所（西日本豪雨災害復旧工事）見学	参加 28名

8) 四国支部

(1) 支部総会	(30.6.29)	平成 29 年度事業及び会計報告 平成 30 年度事業計画及び収支計画等 協会賞表彰式 役員の改選	参加 70 名
(2) 支部運営委員会	(30.6.29)	平成 30 年度支部総会付議事項決議	参加 26 名
(3) 幹事会	(30.4.18)	年間行事等打合せ	参加 6 名
	(30.6.5)	支部総会及び支部運営委員会打合せ	参加 8 名
	(30.9.6)	支部長会議報告及び見学会打合せ	参加 7 名
	(31.1.18)	見学会報告及び鉄道電気技能功労賞・協会貢献者賞の推薦につ いて	参加 4 名
	(31.3.13)	事業報告・決算報告及び事業計画等打合せ	参加 7 名
(4) 監事会	(30.5.21)	平成 29 年度事業及び会計監査	参加 4 名
(5) 講演会	(30.6.29)	「IoT と AI の動向と鉄道への応用」 講師 ・日本電気(株)交通・物流ソリューション事業部 バリュークリエイション部シニアエキスパート 青柳 宗之 氏 ・日本電気(株)スマートインフラ事業部第六システム部 建山 弓弦 氏	参加 70 名
(6) 見学会	(30.11.22)	兼松エンジニアリング(株)明見工場・本社	参加 29 名

9) 九州支部

(1) 九州支部総会	(30.7.18)	平成 29 年度事業及び会計報告 平成 30 年度事業計画及び収支計画等 役員の改選	参加 144 名
(2) 支部運営委員会	(30.7.18)	平成 29 年度事業及び会計報告 平成 30 年度事業計画及び収支計画等 役員の改選	参加 21 名
(3) 幹事会	(30.6.14)	平成 29 年度事業及び会計報告 平成 30 年度事業計画及び収支計画等	参加 19 名
(4) 講演会	(30.7.18)	「労働災害の現況と防止対策 ～仲間から死傷者を出さないた めに～」 講師 日本労働安全衛生コンサルタント 鈴木 淳 氏	参加 144 名
(5) 見学会	(31.2.15)	J R九州唐津変電所	参加 30 名